

2019年度 熊本YMCA放課後等デイサービス 自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 ・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			開所曜日等の調整で適切な人員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレ、スロープ等配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			自社独自の目標管理を活用している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者からの聞き取りは行っているがアンケートは実施できていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			開示予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回程度企画している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の姿が見える計画書を心掛けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたものは使用していないが、共通理解は十分に行えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとに企画ができています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期休暇中に細かな目標設定ができています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			行えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前の時間を使い確認できている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日の午前に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録により、児童を見る視点を共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参画している。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在医療的ケア児の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援事業所を通して共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、就労移行対象児はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	発達検査等を支援計画の指針として取り入れている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		法人全体で様々なイベントがあり交流の機会を作れている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	参加した実績はない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	適宜行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	形式化されたペアトレは行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		行っている。
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	出来ていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	法人内のHPでブログを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		人目に触れにくい所に配置している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		している。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人全体で行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	作成はしているが周知はできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	法人全体で行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待については度々周知を徹底している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束はしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		している。

	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成している。
--	-------------------------------	---	--	--	---------